

サービス自己評価表

多機能型事業所ひまわり 銭函

1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	はい
広さは十分かと思います。広すぎてお子さんたちが離れすぎることもありますので、適宜環境設定の工夫をしながら対応しております。		

2	職員の配置数は適切であるか	はい
支援の時間の中では、十分な人数が確保できています。感染予防の観点から、職員数が少なくなる日がありますが、その場合も、記録を支援後に回したり、無理のない支援内容に変更するなど柔軟に対応しております。		

3	事業所の設備等についてバリアフリー化の配慮が適切になされているか	はい
バリアフリーの環境が整っています。 オムツを変える際の場所に困ることがありましたが、簡易的な目隠しで対応しています。		

4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	はい
定期的にモニタリングや会議を実施して振り返ることができています。 客観的な評価の実施についても、OTが中心になって進めています。		

5	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	はい
年1度の評価を行っています。 保護者さまの意見もスタッフに周知できています。		

6	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	はい
実施しております。		

7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	はい
現在のところ、外部評価を行っておりません。		

8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	はい
月に1回の事業所内研修を計画的に行っています。		

9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	はい
OTさんが中心となり適宜評価を行ない、個別支援計画に反映させています。		

10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	はい
その時々に合わせて、必要な評価を適宜行っています。		

11	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	はい
家族支援や学校や園についても、情報収集し、必ず記載するようにしております。		

12	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	はい
個別支援計画立案の会議での周知、その後は個人の記録を見返したりなどして、意識的に支援しています。		

13	活動プログラムの立案をチームで行っているか	はい
今は、保育士さんとOTさんが意見を出し合ってプログラムを立案できています。互いに、意見を出し合いながら活動を展開できていると思います。		

14	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	はい
毎週、プログラムを変えて実施しております。あえて、繰り返し取り組む必要のある課題については、短い期間に何度か取り組めるような工夫も考えております。		

15	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成しているか	はい
集団活動を基本としながらも、必要に応じて個別活動に移行するように務めております。		

16	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	はい
毎朝、十分に確認できております。		

17	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	はい
毎回の支援について、子どもの気になる様子、職員の動き方、課題設定の適切さなどについて適宜振り返り、次の支援に生かしております。		

18	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	はい
毎回、十分な量と質の記録を心掛けて記録しております。当日には保護者が閲覧できるようにしております。		

19	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	はい
保護者さまとも定期的に面談やLINEでの相談などを通して情報収集を行っています。 その様子も受けながら、定期的にモニタリングを実施しています。		

20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	はい
児発管を中心に、必要に応じてOTや保育士が同席するようにしております。		

21	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	はい
適宜、発達支援センターなど関係機関との連携を積極的に行っています。		

22	保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、移行に向けた支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	はい
家庭連携を含め、園に訪問させていただくように努めております。また、電話等での情報交換などは年に1回を目安に積極的に行っています。		

23	小学校や特別支援学校（小学部）との間で、移行に向けた支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	はい
必要に応じて行っています。 入学前の事前の会議なども開催しています。		

24	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	はい
外部からの助言や研修は、コミュニケーションツールを通してスタッフに周知しています。 動画視聴などの研修には積極的に参加し、業務時間内に受けてもらえるように配慮しております。		

25	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	いいえ
このような機会は設けておりません。 保護者さまからも、期待される意見は聞かれていません。		

26	（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	はい
月1回の頻度で支援部会に参加しています。		

27	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	はい
毎回のご様子を支援アプリで保護者さまに報告しています。 適宜、アプリケーションやLINEを通して、また面談などでも報告し、十分に共有できています。		

28	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っているか	はい
保護者勉強会の実施をしました。今後も定期的に開催していきたいと考えています。		

29	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	はい
契約時に説明がされています。		

30	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	はい
必ず口頭での説明を行っています。また今年度途中からは、保護者さまの端末でも個別支援計画を閲覧できるようになったため、より共有がされやすくなっております。		

31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	はい
適宜面談やLINEを通して、保護者さまの相談にお答えしています。		

32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	はい
オンラインでの参観日や、保護者同士の研修会＋座談会を実施しています。		

33	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	はい
迅速に対応するように心がけています。クレーム等は頂いておりません。		

34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	はい
毎月お便りを発行してます。今年度からは、データでの配信も行っており、保護者さまの手元に届くタイムラグも減り、端末からも確認して頂けるようになりました。		

35	個人情報の取扱いに十分注意しているか	はい
十分に管理しております。		

36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	はい
適宜必要な配慮を行っています。		

37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	いいえ
コロナ禍となり外部の方との接触を控えております。		

38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	はい
それぞれ必要なマニュアルを作成しています。また、BCPマニュアルも作成し、避難訓練の実施やマニュアルの確認を行っております。保護者さまには契約時に説明を行っております。		

39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	はい
年2回の避難訓練を行っています。 また、嘔吐処理などの感染対策の訓練も実施しています。		

40	事前に、予防接種やてんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	はい
母子手帳等で確認を行っております。		

41	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	はい
現在は、医師の指示が必要な児童が通所しておりません。 毎年、アレルギーのアンケートを行い確認しております。		

42	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	はい
事案発生時には、報告書を速やかに作成しスタッフ同士で共有する会議を行っております。		

43	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	はい
年間の研修の中で、企画され実施されています。		

44	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	はい
個別支援計画（案）の会議の時に、必要性について検討し、個別支援計画の中で、対応方法について記載しております。実際に身体拘束を行った事案はありません。		